

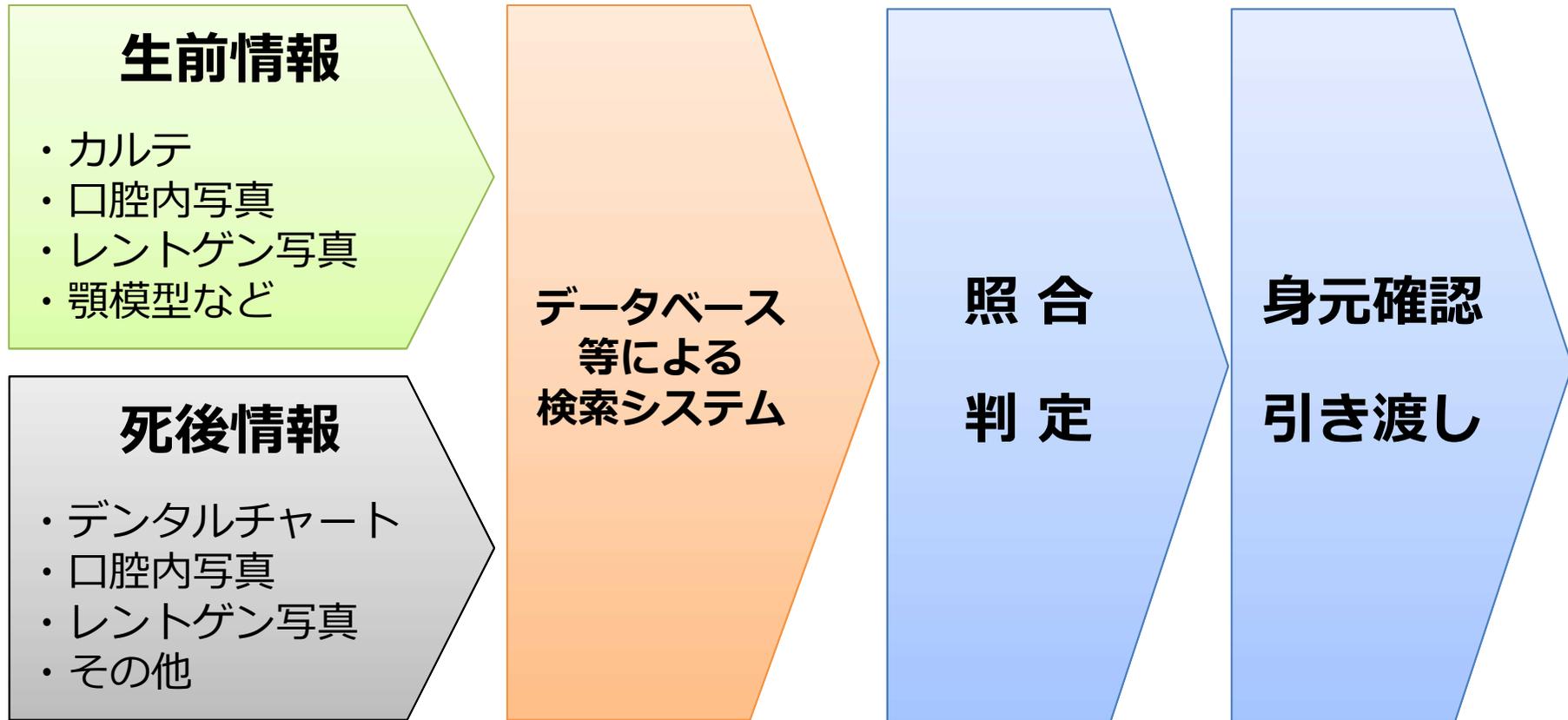
第一回死因究明等推進計画検討会
令和2年7月31日

歯科所見による身元確認

公益社団法人 日本歯科医師会
副会長 柳川 忠 廣

資料の
—
8

身元確認の流れ



大規模災害の備えとしても、検索システムの整備により、身元確認の照合作業を正確かつ迅速に行うことを目指す。

生前歯科情報と死後情報とのデータ照合

歯科情報登録シート(歯科医院からのデータ提供) 第2面

氏名	性別	年齢	生年月日	〒	都道府県	市町村	番地	電話番号
診療科目	担当医師	担当歯科医師	担当歯科衛生士	担当歯科助手	担当歯科診療士	担当歯科放射線技師	担当歯科麻酔科医師	担当歯科麻酔科助手
診療時間	診療科目	診療科目	診療科目	診療科目	診療科目	診療科目	診療科目	診療科目

歯科健康診査票(各種健診用) 第2面

患者に付して書いてはまるすべての項目にチェックして下さい

歯科健康診査票(各種健診用) 第2面

歯科健康診査票(各種健診用) 第2面	歯科健康診査票(各種健診用) 第2面
歯科健康診査票(各種健診用) 第2面	歯科健康診査票(各種健診用) 第2面
歯科健康診査票(各種健診用) 第2面	歯科健康診査票(各種健診用) 第2面

【歯の状況】

歯	歯列								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

【歯列矯正】

| 矯正装置 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |

口腔診査情報標準コード仕様

生前歯科情報

標準化
照合検索

歯科情報登録シート(遗体情報) 第2面

氏名	性別	年齢	生年月日	〒	都道府県	市町村	番地	電話番号
死因								
死後経過								

デンタルチャート(死後記録)

遗体番号 A-001

死後経過

死後経過									
死後経過									

【歯の状況】

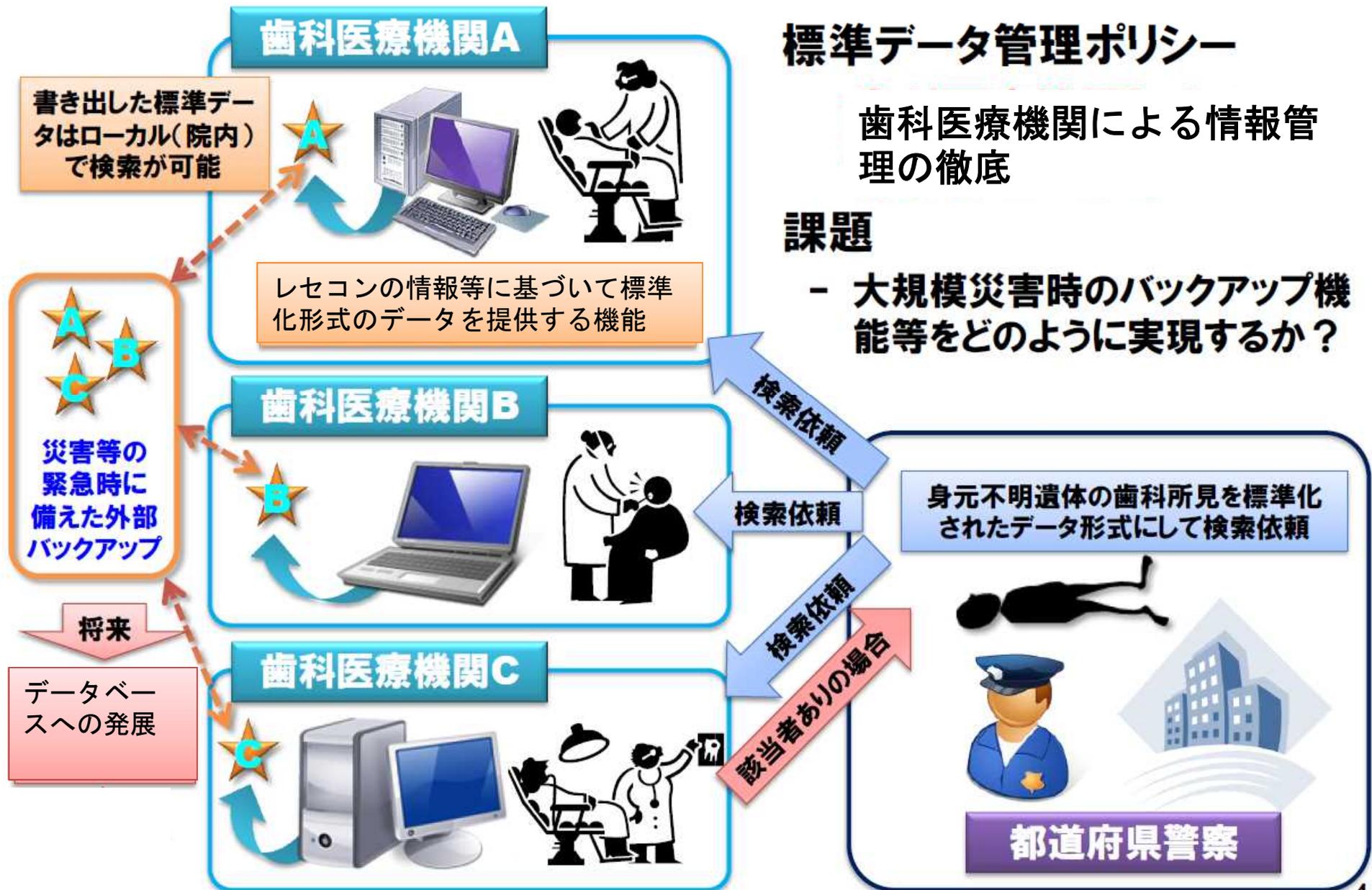
歯	歯列								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

【歯列矯正】

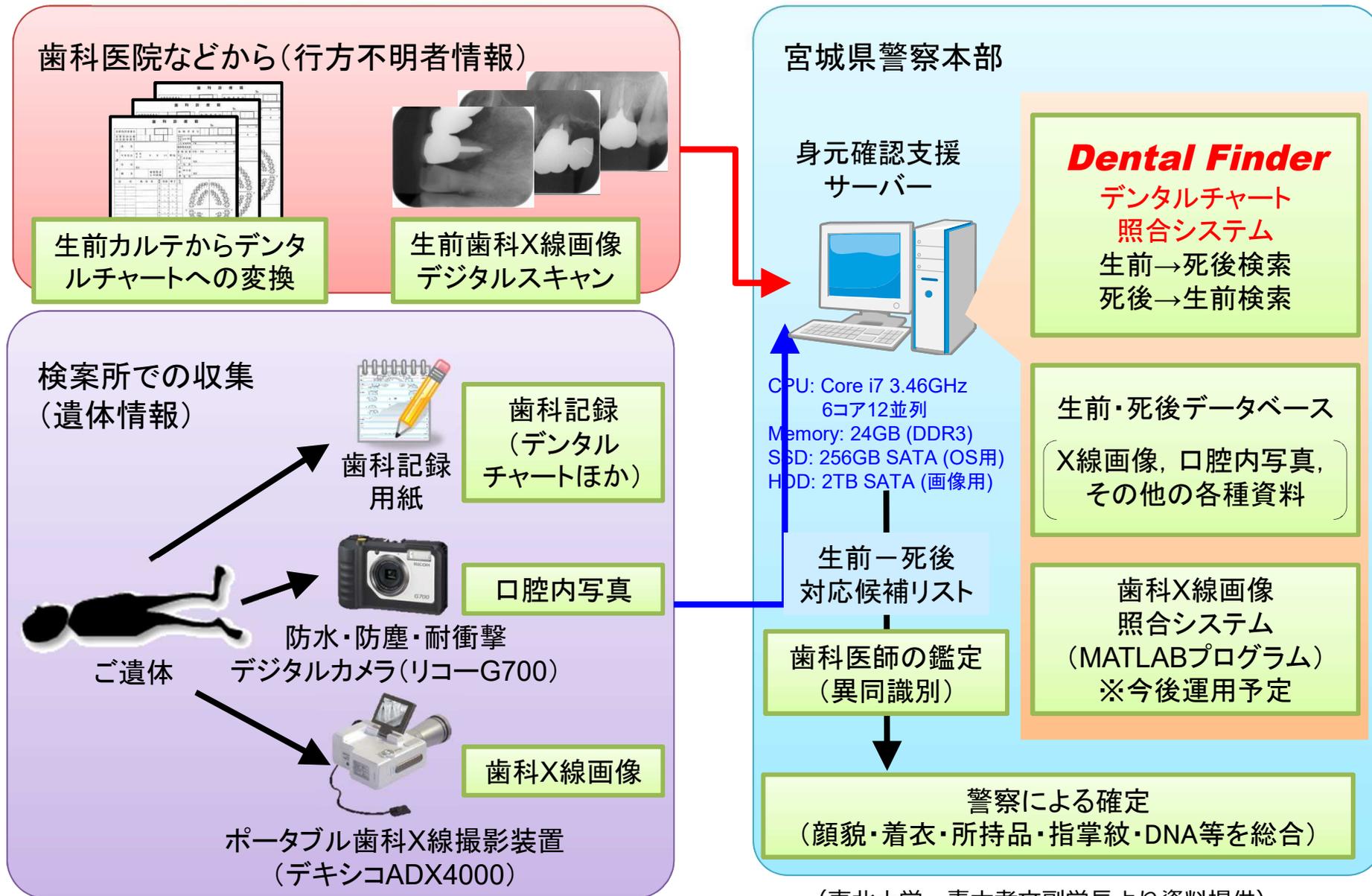
| 矯正装置 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |

死後歯科情報

歯科医療機関におけるデータの管理と活用



宮城県における大震災身元確認ワークフロー および身元確認支援システム（参考）



（東北大学・青木孝文副学長より資料提供）

歯科所見による身元確認の意義

- 身体のみから個人を特定できる生体特徴としては、歯科所見（歯の記録）、指掌紋、DNA型などがあげられる。
- 歯科所見は死後変化の影響を受けにくいいため、身元不明者への身元確認（個人識別）において、その果たす役割は高い。
- 東日本大震災では、当初の数か月で約2,600名の歯科医師が出動し、約8,700体の歯科所見を採取し、身元確認に貢献した。

延べ2600名の歯科医師が東日本大震災における ご遺体の歯科所見を採取した件数等

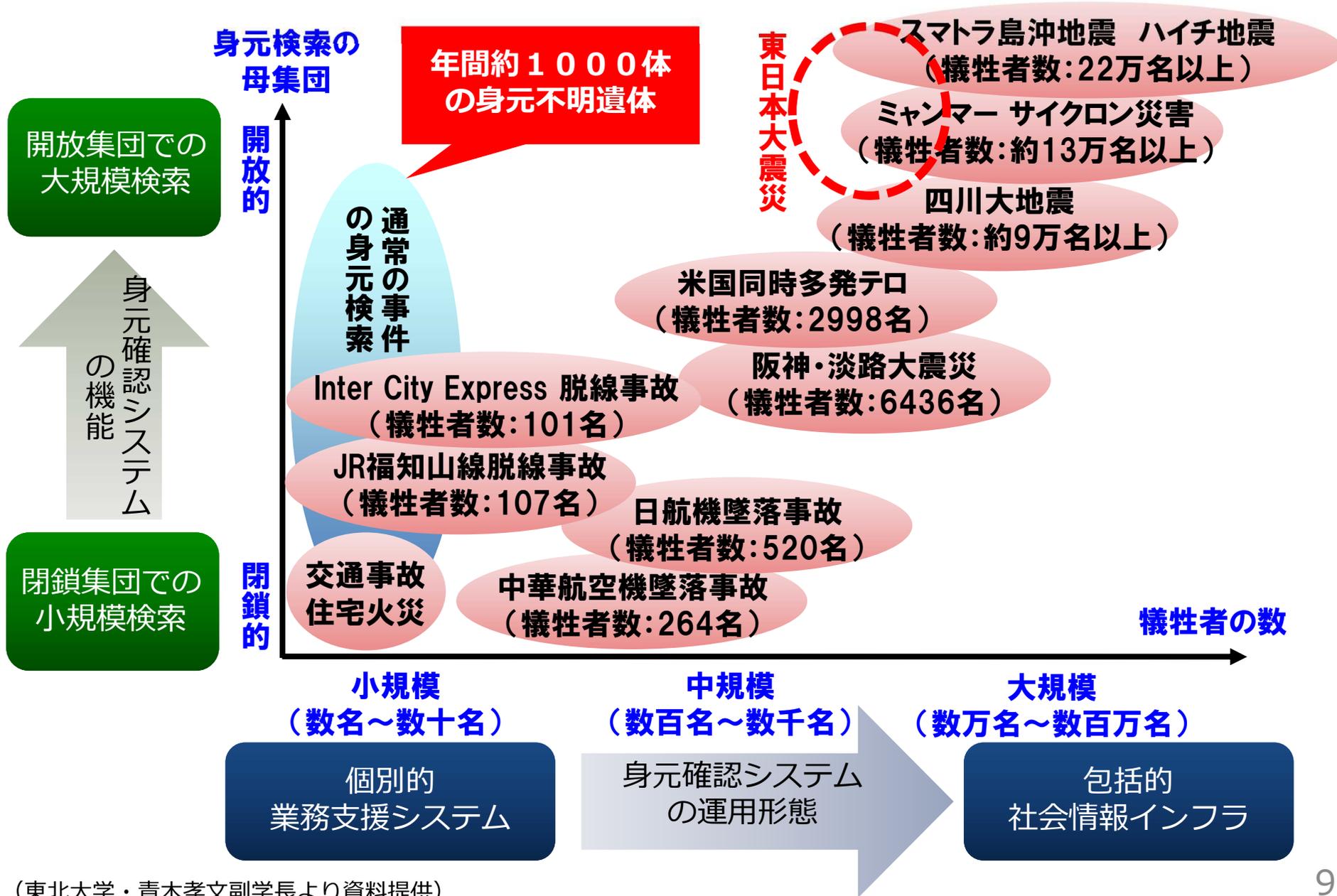
	検視等済み 死体数	左記死体のうち、 歯科情報を記録した デンタルチャートの総数	身元確認数 (全体)	身元確認数（全体）の うち、歯科情報により 身元を確認した数
岩手県	4,671	2,690	4,578	127
宮城県	9,522	4,978	9,347	878
福島県	1,606	1,051	1,603	199
合計	15,799	8,719	15,528	1,204

(平成24年7月11日時点の報告数)

身元確認に用いられる生体特徴

	遺体損傷 に対する 耐性	精度	コスト	時間	データ ベースの 受容性
顔	×	△	◎	◎	△
指紋・掌紋	×	◎	○	○	×
歯	◎	◎	○	○	◎
DNA	◎	◎	△	△	×

身元確認を支援するシステムの適用範囲



(東北大学・青木孝文副学長より資料提供)